教科目名　現代文（Modern　Japanese）

学科名・学年　：全学科　３年
単位数など　：必修　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，授業時間 46.5 時間）
担当教員　：相本正吾

授業の概要

・現代文(評論文・随想・現代詩・短歌俳句川柳)を読み,その読解・鑑賞・内容に関する文章作成や意見交換を行う.
・内容が関連している他の文章(古文や漢文・漢詩も含む)があれば,プリントにして一緒に読んでいく.
・作成したプリントを試験範囲とした「漢字・語句の小テスト」を二～三週間ごとに行い,漢字・語句の力をつける.
・年二回、授業で文学作品や文章の創作を行う「創作大会」を実施する.

達成目標と評価方法　　**大分高専目標（C1）**

(1) 現代文(評論文・随想・現代詩・短歌俳句川柳)に親しみ,読解や鑑賞の基礎・応用を身につける.(定期試験・課題ノート)
(2) 評論文や随想によく出てくる重要語句や表現の意味や用法をマスターする.(定期試験・小テスト)
(3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける.（課題ノート・提出課題・発表)
(4) 常用漢字の書き取り読み取りや慣用句・四字熟語・諺の力をつける.(定期試験・「漢字・語句の小テスト」)

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	ガイダンス、随想（1）	随想の読解と,問いを設けての文章作成を行う.	【理解の度合い】
2	小説（1）	小説の読解を行う.	
3	小説（2）	小説の読解と,問いを設けての文章作成を行う.	
4	現代詩（1）	現代詩の読解・鑑賞を行う.　文芸用語・文学史（1）.	
5	短歌（1）	短歌の読解・鑑賞と,問いを設けての文章作成を行う.	
6	評論文（1）	評論文の読解を行う.　評論文用語（1）.	
7	随想（2）	随想の読解と,問いを設けての文章作成を行う.	
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9	中間試験の解答と解説 現代詩（2）	現代詩の読解・鑑賞と,問いを設けての文章作成を行う.	【理解の度合い】
10	随想（3）	随筆の読解を行う.	
11	創作大会(第１回)	創作大会を行う.	
12	評論文（2）	評論文の読解と,問いを設けての文章作成を行う. 評論文用語（2）.	
13	小説（3）	小説の読解を行う.　文芸用語・文学史（2）.	
14	評論文（3）	評論文の読解と,問いを設けての文章作成を行う.	
15	前期期末試験		【試験の点数】　点
	期末試験の解答と解説		
16	随想（4）	随想の読解を行う.	【理解の度合い】
17	評論文（4）	評論文の読解と,問いを設けての文章作成と討論を行う.	
18	随想（5）	随想の読解を行う.	
19	小説（4）	小説の読解と,文章作成を行う. 文芸用語・文学史（3）.	
20	評論文（5）	評論文の読解を行う.　評論文用語（3）.	
21	現代詩（3）	現代詩の読解と,問いを設けての文章作成を行う.	
22	評論文（6）	評論文の読解を行う.	
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24	中間試験の解答と解説 俳句・川柳（7）	俳句・川柳の読解と,問いを設けての文章作成を行う.	【理解の度合い】
25	随想（6）	随想の読解を行う.	
26	創作大会(第２回)	創作大会を行う.	
27	小説（5）	小説の読解を行う.　文芸用語・文学史（4）.	
28	評論文（7）	評論文の読解と,問いを設けての文章作成と討論を行う.	
29	現代詩（4）	評論文用語（4）. 現代詩の読解・鑑賞を行う.	
30	後期期末試験		【試験の点数】　点
	期末試験の解答と解説		

履修上の注意	各文章の内容に関連する文章や作品をプリントでも読んでいき,それらのプリントも考査の範囲に入れることもあるので,保管しておくこと.	【総合到達度】
教科書	『新編現代文』(東京書籍),『新編現代文 学習課題ノート』(東京書籍)	
参考図書	『改訂新版最新国語便覧』(浜島書店. 前年度の継続)	
関連科目	国語総合（２年),日本語表現法（４年)	
総合評価	総合評価＝４回の考査の平均点×０．７＋ 課題点（３０点満点). 総合評価が６０点以上を合格とする. 対象者に対して再試験は行う.	【総合評価】　点